

研修責任者等研修事業 都道府県名（ 熊本県 ）
（実地指導者研修）

I. 研修の開催に関すること

1. 研修開催場所の箇所数 （ 1 ）箇所
2. 研修開催場所の選定にあたって考慮したこと

実施場所は委託先である熊本県看護協会で、看護職員の研修会場として設備等適切である。

3. 研修開催回数 延べ（ 1 ）回

II. 研修受講者に関すること

1. 研修受講者数等(実人員)
（開催回別に記入してください）

開催回	応募者数	受講者数
第1回	（ 33 ）名	（ 33 ）名
第2回	（ ）名	（ ）名
第3回	（ ）名	（ ）名

※ 必要な場合、行を追加してご記入ください

2. 研修受講者の所属施設

施設種別	応募者数	受講者数
病院	（ 33 ）名	（ 33 ）名
診療所	（ ）名	（ ）名
助産所	（ ）名	（ ）名
介護老人保健施設	（ ）名	（ ）名
指定訪問看護事業所	（ ）名	（ ）名
その他 （ ）	（ ）名	（ ）名

3. 研修受講者のうち、病院の場合の病床規模

許可病床数	受講者数
100床未満	(2)
100～200床未満	(7)
200～400床未満	(19)
400床以上	(5)

4. 研修受講者の職位

職位	人数
看護部長	()名
看護副部長	()名
師長	()名
係長・主任	(12)名
スタッフ	(20)名
その他	(1)名

※ 職位が貴県での区分と異なる場合には、貴県での区分に変更したうえで、ご記入ください

5. 研修の受講資格・選考基準等(施設類型や職位等による基準を設けているか否か等についてご自由にご記入ください)

受講資格は「平成23年度部署の実施指導者の任にある看護職員」とし、受講申請書に職位・現在の役割・看護部および部署の教育委員の経験の有無の記入欄を設け選考時の参考とした

6. 事業の周知及び参加者募集方法(ご自由にご記入ください)

- ①新人看護師のいる全施設(480施設)へ募集要項を配布し参加を募った
- ②会長が県協会研修時に参加の呼びかけを行った

Ⅲ. 研修内容に関すること

1. 受講形式

- A 全日程を受講することを基本としたコース形式
 B 講義毎に部分的に受講する形式

2. 研修プログラム

時期 (月)	研修テーマ	時間数	研修内容・方法
7月	1 新人看護職員臨床研修の企画と評価	6h	講義 1)基礎教育における臨床実践能力の習得状況 2)成人学習者の特徴と教育方法 3)看護部理念と施設における新人看護職員に求める能力の明確化 4)新人看護職員臨床研修の教育計画の立案 5)評価方法と評価結果のフィードバック
8月	2 新人看護職員臨床研修体制	6h	講義・演習 1)新人看護職員臨床研修の考え方と政策的動向 2)生涯学習、専門職業人としての継続教育キャリア形成の考え方 3)新人看護職員臨床研修の概略 4)新人看護職員臨床研修における、研修責任者の役割
	3 新人看護職員臨床研修体制の構築と運営		講義・演習 1)新人看護職員を育てる組織風土づくり 2)新人看護職員研修責任者、研修担当者、実施指導者の役割と活動内容 3)新人看護職員臨床研修の運営にかかわる実施体制づくりと整備 4)現場への周知徹底の実際
8月	4 実習指導者に求められる能力と実践・評価について	6h	講義・演習 1)実地指導者の役割を理解する 2)新人看護職員へのかかわり方を学びどのように育てたいのかを明確にできる 3)実地指導者が感じる新人看護職員指導上の問題と解決の糸口をつかむ 4)指導をとおして自分自身も成長できる
8月	5 新人看護職員臨床研修に関わる看護職員のメンタルサポート	6h	講義・演習 1)看護職員のストレスとメンタルヘルス
8月	"	3h	講義・演習 2)新人看護職員と実施指導者への精神的支援の実際
11月	6 新人看護職員臨床研修の教育計画の立案	6h	講義・演習 「新人教育に関する問題点と改善点」について
2月	7 フォローアップ 新人看護職員臨床研修の評価と次年度の企画	6h	講義・発表 1)企画・実践の評価 2)実践報告 3)新たな問題への解決策を見出す

※ 行が不足した場合、適宜追加してご記入ください

※ 時期には実施月をご記入ください。

3. 講師数(実人員)

看護職員： ①看護教員(講師、教授など大学の教員も含む) (3)名
②臨床現場の看護職員 看護部長、副看護部長、看護師長 (3)名
施設の教育担当者(教育責任者等) ()名
専門看護師・認定看護師 ()名
その他 ()名

その他の職種： 職種等() ()名
職種等() ()名
職種等() ()名

4. 1回の研修にかかる日数および時間数(日数、時間数の両項目に記載願います)

(1. でBと回答した場合には、1クールの総日数・時間数を回答願います)

(7)日 (39)時間

5. 4. の内訳 講義 (27)時間 演習 (11)時間
その他 () ()時間 オリエンテーション (1)時間

IV. 事業の評価等に関すること

1. 事業の実施にあたって工夫した点(自由にご記入ください)

新人教育を担当するにあたって、成人学習者の特徴と教育方法等、基礎教育に関しては3研修合同 (責任者研修・教育担当者・実地指導者)とし知識が共有化されるように工夫を行った。

2. 事業の効果および評価に関すること(自由にご記入ください)

2月29日に3研修(責任者・教育担当者・実地指導者)合同の研修を行う。内容は責任者コースの研修生が「研修での学びを取り入れ、次年度の計画を企画するにあたり、平成23年度の研修計画との違い・なぜ変更したか」を発表する。教育担当者・実地指導者は発表・質疑応答・コメントを聴き、これまでの講義・演習を復習するとともに今後の実地指導者としての役割の発揮に役立て、研修効果が上がることを目的とする。評価に関しては終了後にアンケート調査を行う

V. 事業の委託に関すること

1. 事業の委託 A 委託していない B 委託している 委託先(熊本県看護協会)